

(仮称) 静岡県教育大綱(素案) に対する御意見への対応

1 要旨

(仮称) 静岡県教育大綱(素案) のパブリックコメント及びこども向けアンケートを実施した結果、21 個人から延べ 28 件の意見が寄せられた。

いずれも素案の修正を必要とする意見ではなく、意見の趣旨を踏まえて取り組む。

2 意見募集期間

令和 7 年 2 月 3 日 (月) から令和 7 年 2 月 21 日 (金) まで

3 意見提出状況

21 個人から 28 件

項 目	意見提出数	
	件数	人数
パブリックコメント (電子メール)	7	4
こども向けアンケート (ふじのくに電子申請サービス)	21	17
計	28	21

※ 1 人の意見で趣旨の異なる意見は、別意見として件数にカウントしている。

4 提出された意見の対応区分

区分	対 応	件数
A	御意見を踏まえて修正する	0
B	御意見の趣旨が原案に含まれている	1
C	御意見の趣旨を踏まえて取り組む	24
D	その他 (質問、他の施策への要望等)	3

5 提出された意見の要旨及び意見に対する考え方

別紙のとおり

提出された御意見の要旨及び御意見に対する考え方

1 総論

No.	意見要旨	区分	意見に対する考え方	コメント
1	本県の教育が抱えている課題を明らかにし、それをどのように克服するのか、克服された教育というものがどのようなものなのかを明確にするべきだと思います。	C		
2	「何をするのか」について、具体性に乏しく感じる。どのようなことを行っていくのかが明記されていないので信憑性に欠けるし、県民も実感しづらい。	C	「静岡県教育大綱」では、本県における教育の基本理念や取組の方向性を示しています。 本県教育が抱える課題、その克服のための施策の目標や具体的取組は、令和7年度に策定する「静岡県教育振興基本計画」において示し、その進捗状況を毎年度評価していきます。	○
3	みんながみんな幸せとは限らないこの世の中で、「幸福度日本一」を目指すのは、簡単ではないと思いますが、具体的根拠、理由を提示し、素案を教育大綱として実現できるようにしてほしい。	C		○
4	幸せは人それぞれです。 私は、幸せを見つけられる人をどんな方針で育てていくかが重要だと思います。	C		○
5	「社会で元気に生きていける力」は必要だとは思いますが、それを提示すると、それが正解なんだ、それが求められていることなんだと解釈し、プレッシャーと感じてしまう場合があるのではと思いました。 より一人ひとりに合った、寄り添える社会が、目指すべき社会の一つだと感じました。	B	一人ひとりに合った寄り添える社会は大切であると考えており、本県の教育施策の大前提として、基本理念の前文で、「全ての人が自らの夢を実現し、一人ひとりがそれぞれの幸福を実感できるようにしていくことが何よりも重要」、「社会全体で一人ひとりの夢の実現を支えていくことを通じ、本県の未来に向けた人づくりに取り組んでいきます」と明記しています。	○
6	年齢を問わず、県民みんなが夢や希望を持って暮らしていけるような県になって、県民の幸福度をさらにあげてほしいと思います。	C	基本理念の前文でも明記しているように、県では、県民一人ひとりの幸福実感を重視する「ウェルビーイング」の視点を取り入れ、オール静岡で「幸福度日本一の静岡県」を目指して取り組んでまいります。	○
7	この「教育大綱」を一人ひとりの教師がしっかり深く認識をして誰に対しても差別の無い明るい教育を導いて欲しいと願います。	C	大綱を各学校へ配布し、各教員に本県教育の基本方針や取組方針の周知を図ります。	○

No.	意見要旨	区分	意見に対する考え方	こども
8	希望する高校には行ける偏差値はなく、特別支援学校も選択できないような支援を受けられる受けられないの間にいる人も、助けられる社会になると嬉しいです。	C	全てのこどもがその夢に向かって挑戦していくことのできる環境を実現するため、多様な学びの場の確保を推進します。	○

2 具体的取組

No.	意見要旨	区分	意見に対する考え方	こども
9	金融教育や生成AIをゲーム感覚で学べるカリキュラムを作ってほしい。 毎日とは言わないが、最先端技術やデジタルに触れ合う機会を創出してほしい。	C	県では、デジタル技術を活用した学習を推進するとともに、一人ひとりの実情やニーズに沿った多面的・多角的な支援を推進しています。 また、小中高生を対象としたプログラミング講座を実施するなど、学校の内外においてデジタル技術等に接する機会を設けてまいります。	○
10	静岡県では、今の与党は何をやっていて日本をどうしたいのか、政治家、政党、いまある色々な政党の目指してる日本、海外と比べて日本が置かれている状況、私たちの納めている税金の使われ方、国民の税金負担率、国民の知らないところで可決されようとしている法案など、国民が深く知りえないことを色々子供に教えて欲しいです。 これから日本を生まれ変わらせるために政治に興味を持つように授業をしてもらいたいです。	C	県では、児童生徒の発達段階に応じて社会科や特別活動、総合的な学習、探究学習等を通じて主権者教育（政治・経済をはじめ、社会の出来事を自ら考え、判断し、主体的に行動する人を育てる教育）に取り組んでいます。引き続き、積極的に社会に関わる主権者を育てるための教育の充実に取り組んでまいります。	○
11	学校の授業として実際に様々な職業の方の話やその職業の方でしか経験できない貴重な話など気軽に聞ける機会などあれば様々な職業の理解が深まり楽しいと思えました。	C	各学校ではキャリア教育を進めています。職業講話、職業体験等を実施しており、その中に地域愛や、就労観の醸成が含まれております。 また、特別支援学校では、多職種の方による授業や高等部生徒の実習先の企業や事業所の方から話を聞く機会を設けています。こうした企業等との連携によるキャリア教育の推進により、地域と企業に対する理解を深めてまいります。	○

No.	意見要旨	区分	意見に対する考え方	ことば
12	公立高校だけでなく、私立高校にも金銭面での援助だけでなく、幅広い支援をお願いしたいです。	C	県では、私立学校の運営に係る経常的経費に対し助成を行っているほか、私立学校が行うスクールサポートスタッフの配置や施設耐震化等に対する支援を行っています。引き続き、教育条件の維持向上、保護者の経済的負担の軽減等に向け、私立学校に対する幅広い支援に努めてまいります。	○
13	これからの静岡県の公立進学校（普通科すべて）では、人口減少対策として、専門学校進学と就職指導を積極的に取り組むことはとても重要だと思います。	C	県立高等学校では、キャリア教育等を通じて、地域に対する理解や就労感の醸成等に取り組んでいます。引き続き、一人ひとりが望む進路選択を行えるよう、キャリア教育を推進します。	
14	給食の量を増やして欲しい 給食費を無償化してほしい 給食の時間を長くして欲しい 昼休みを長くして欲しい	C	給食の時間や昼休みの時間等については、児童生徒の実態等を踏まえ、教育活動を計画しています。 学校給食は、児童生徒に必要な栄養素をバランスよく提供することを目的に、学校給食摂取基準や児童生徒の実態に合わせて適切に提供されています。 給食費の無償化については、現在、国において無償化の実施に向けて議論されているところであり、今後の国の動向を注視していきます。	○
15	一人ひとりの個を尊重した学校づくりや、困りごとに寄り添ったサポートを充実してくれることがいいなと思いました。	C	県では、児童生徒の実情やニーズに応じた学習環境の整備や地域全体で困難を抱える人たちを支える体制の充実に取り組んでいます。引き続き、学校と関係機関が連携し、チームによる支援により、一人ひとりの児童生徒等の状況に応じて、早期かつ手厚い組織的な支援を行ってまいります。	○
16	大人になってからも学べる環境とは何ですか？	D	社会人になってからも、仕事に役立つスキルを身に着けたい、自分のスキルや知識を更に高めたい、興味のあることを学び直したいと思ったときにいつでも学ぶことができる環境のことで、公民館や生涯学習施設等を活用した講座の開催や大学等で学び直しやスキルアップを行う「リカレント教育」等があります。	○

No.	意見要旨	区分	意見に対する考え方	ことば
17	大人になってからも学べる場所づくりもしてあげることが嬉しいなと思います。	C	県では、生涯学習や社会教育を推進する人材の養成や資質向上を図るとともに、市町や関係機関と連携した多様な学習情報の提供など、生涯を通じた多様な学習ニーズへの支援を行っているほか、大学が取り組む学び直しの機会創出に対する助成や新たな学び直しの環境整備に係る検討等を行い、リカレント教育を推進しています。引き続き、関係機関と連携を図り、生涯を通じて学び続けることのできる環境を整備していきます。	○
18	公立高校のクラス定員を25名から30名程度に減らすべきだと思います。 もしくは教員数を学校あたりのクラス数換算ではなく、教員数を増やす方向で考えて欲しいです。働き方改革のために行事やイベントが削られそれは生徒にダイレクトに還ってきます。いい教育を続けるなら教員増をお願いします。	C	教職員の確保については、年齢構成等のバランスを鑑み、計画的に採用しています。また、教職員の負担の軽減など、働き方改革の推進により、児童生徒と向き合う時間の確保に努めております。 標準となる教職員の定数は、国の法律に基づき算定されることから、引き続き国に対し見直しを要望をしていきます。	○
19	先生の数を増やして、一人ひとりの先生の負担を減らしてほしいなと思いました。	C		○
20	教育DXにお金を使うより常に穴の開いている現場に教員や支援員を補充するためにお金を使ってほしい。	C	公立小中学校、県立高等学校、県立特別支援学校等の臨時的任用職員、非常勤講師等での活躍を希望する人材を登録する「静岡県教職員人材バンク」を活用し、適切な教職員の確保に努めているところです。引き続き、教職員人材バンクへの登録者拡充を図る等、教職員の確保に力を注いでいきます。	
21	増え続ける特別支援学校の中の知的障害学校では常に人手が足りない状況で多くの生徒を少ない教員で見ることで強度行動障害の生徒とのトラブルも増えています。専門性に乏しい若手教員の強度行動障害の研修が必須です。自閉スペクトラム症の研修とともに何度も研修で取り上げ専門性を付けさせるようにしてほしいです。	C	県教育委員会では、教員の資質向上のため、年次別研修など、キャリアステージに応じた研修を体系的に実施しています。今後も、学校のニーズを踏まえた教員研修の充実に取り組んでまいります。	

No.	意見要旨	区分	意見に対する考え方	こども
22	<p>教員にどのような研修が必要なのか本気で考えてほしい。教員の性加害がなくならない現状は教員研修だけでなく生徒にも性加害について教える生命の安全教育が必要です。また、SNSと現実の二つの人間関係を生きなくてはならない今の子どもに健全な関係性を学ぶ機会が必要です。教員が包括的性教育を学び日頃の生活指導に生かし、生徒間の人間関係に介入できる力量を付ける必要がある。5歳から18歳まで段階を追ってどのように人間関係を作るかが丁寧に説明されているユネスコの指針を研修で扱ってほしい。</p>	C	<p>教員がジェンダーや多様性等について理解を深め、学校において人権を基盤とした教育活動が展開されることは極めて重要です。引き続き、教員の資質向上のため、年次別研修などキャリアステージに応じた研修を体系的に実施しています。</p>	
23	<p>生徒指導提要も改訂され、こども基本法ができ、子どもを権利主体として遇する外堀は固められたが、肝心の学校現場でその精神を生かした生徒指導が行われているか疑問である。ぜひしつこく研修をして子どもに命令する時代は終わったことを知らしめてください。</p>	C	<p>生徒指導提要が改訂され、生徒指導の基本的な進め方や考え方等が再整理されるとともに、こども基本法の制定により、子どもの権利擁護や意見を表明する機会の確保等が法律上位置付けられました。これらを踏まえ、本県教員研修の実施に当たっては、時代や環境の変化に応じた知識・技能及び指導方法の転換に留意してまいります。</p>	
24	<p>現状では、iPad を使用しての調べ学習において、学習用途のサイトでもフィルターがかかってしまっています。この状態では調べ学習の時にかなりのサイトにおいてフィルタリングが干渉してしまい、満足に調べ学習ができません。もちろん、フィルタリングは必要ですがフィルターの最適化をお願いしたいと思います。</p>	C	<p>フィルター解除等については、県教育委員会や市町教育委員会が、効果的な学習ができるように柔軟に対応しています。引き続き、各学校のニーズを丁寧に聞き取りながら、学習環境の向上を図っていきます。</p>	○

No.	意見要旨	区分	意見に対する考え方	ことば
25	<p>GIGA スクール構想のもとで導入された1人1台端末の活用には、多くの課題があると思っています。</p> <p>GIGA スクール構想の実施にあたっては、単にPCを導入することを目的とするのではなく、その利便性や教育効果を慎重に検討する必要があると考えます。</p>	C	ICTは個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実する基盤的なツールとして必要不可欠ですが、ICTを活用することが目的化しないよう、これまでの実践と適切に組み合わせて有効に活用できるようにしてまいります。	○
26	<p>遠州灘から900mの地に建て替えるという浜松特別支援学校は移転すべき。今後何十年も使う学校の建物で、特に避難が大変な知的障害のあるこどもが暮らす学校(建物)はもっと安全な場所に移転してほしい。</p>	C	浜松特別支援学校の建替えについては、今後も保護者に丁寧に説明していくとともに、普通教室の3階以上への設置を検討するなど安全対策を検討してまいります。	

3 その他

No.	意見要旨	区分	意見に対する考え方	ことば
27	<p>子育てに力を入れた日本一の県になって欲しい。</p>	D	「幸福度日本一の静岡県」を目指し、結婚、妊娠、出産、子育てまでのライフステージに応じた切れ目のない支援を行い、安心して結婚や子育てができる環境整備を進めてまいります。	○
28	<p>県民のことをよく考えていてとてもうれしいと思いました。「幸福度日本一」を目指しているということを知ってぜひ応援したいと思いました。</p> <p>1つお願いがあります。リニアモーターの建設をやめずに進めていってほしいです。</p>	D	いただいたリニア中央新幹線に関する御意見は、関係部署に共有させていただきます。	○